

から4名が選考される。予選から2,000名余の参加者があった。支援委員会では予選問題をレビューする予定。

3) 支部長連絡会議 (杉田)

特になし

4) 地質災害委員会 (松田)

特になし

5) 名誉会員推薦委員会 (星)

・推薦委員会を3/4に開催し、3名の名誉会員候補者を選定した。この3名を理事会に推薦する。

6) 各賞選考委員会 (中澤)

・選考結果報告

リモート会議を計7回行い、選考を行った。選考結果を理事会に上程する。また、各賞選考のプロセスについて、次年度の委員会への申し送りおよび理事会への要望が寄せられた。

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (辻森)

特になし

8) 連携事業委員会 (中澤)

特になし

9) 法務委員会 (中澤)

特になし

10) 若手活動運営委員会 (桑野)

特になし

9. 研究委員会

1) 南極地質研究委員会 (委員長 大和田正明)

特になし

2) 地地質学研究委員会 (委員長 川村紀子; 杉田)

特になし

10. その他

1) 選挙管理委員会 (代理中澤)

・委員会を3/14に開催。理事選挙の開票を行った。

審議事項

1. 若手活動運営委員会巡検企画と学生会員への参加費補助について (下岡)

本年10月または11月に愛知県犬山市周辺の中生代付加体、岐阜県瑞浪市周辺の中新統と瑞浪市化石博物館見学 (または土岐花崗岩と東濃地科学センター見学) などを計画。日帰りバス貸切、参加32名で参加費8,000円程度/人を想定。バス代等の見積もりを精査して参加費を決定する。案内者は検討中。学生会員への参加費補助対象の巡検として承認した。

2. 大柳会員の柵山賞受賞記念講演について (高嶋)

行事委員より、昨年受賞記念講演会を急病で欠席した大柳良介会員のために、山形大会で再度講演の機会を設けられないかという検討依頼があった。執行理事会として承認した。大会スケジュールに配慮し表彰式と別日程とする場合、時間設定と周知の工夫が必要。

3. 2025熊本大会の巡検コースについて (高嶋)

熊本大会の巡検案が提出された。天草諸島の上部白亜系コースについては、潮位と案内者の都合上、プレ巡検で2泊3日 (御所浦島に宿泊予定) を予定。御所浦島へは海上移動となり、悪天候の場合は宿泊も難しい。これらのリスクについて事前に主催者側で検討しておく必要があるため、宿泊先を離島としない計画での再考を求めたい。

4. 令和6年度大学入試共通テストの地学関連科目に関する意見書 (坂口)

入試センターへの意見書を取りまとめ、近日中に送付予定。「地学」は昨年 (49.85点) よりも高い56.62点であり評価したい。「地学基礎」「地学」の両者とも良質な問題が出題されており評価したい。

5. Island Arc Awardの廃止について (辻森)

Island Arc awardは当初出版元のWileyから500ドルの賞金を拠出し共同名義で授与していたが、2年前より賞金の拠出はなくなり、学会単独での授与となった。地質学会として賞の主権を受け継いだが、論文賞と趣旨が重複していると考えられるため、論文賞に統合したい。理事会、総会に廃止を提案する。なお、Island Arc掲載論文を対象とした賞としてMost Downloaded Awardがある。この賞はWileyが単独で行っており、地質学会は関与していない。

6. 2023年度事業実績概要 (案) について

12月理事会以降に実施した事項について追記・微修正の上、4月理事会へ上程する。

7. 2024年度事業計画骨子 (案) について

令和6年能登半島地震対応、シニア会員の活躍の場検討、会員システムの周知について追記した。また出版活動の「専門部会等と協力して投稿数の増加に努める。特に各分野からの総説論文を増やし、学術誌としての存在感と注目度を高めるように努力する。」について、実現可能なより具体的な策を事業計画に盛り込むこととする。文言を最終修正の上、4月理事会へ上程する。

8. 理事会審議事項の確認

1) 名誉会員候補者の選出 (星)

2) 各賞受賞者の決定 (三田村)

3) 研究奨励金支給対象者の決定 (内野)

4) 「大地と人の物語 ~地質学で読み解く日本の伝承~ (仮)」出版企画提案 (天野)

5) 2023年度事業実績概要 (中澤)

6) 2024年度事業計画骨子 (岡田)

7) 2023年度決算概算 (亀高)

8) 2024年度予算案 (亀高)

9) 総会議案の決定 (中澤)

第1号議案 2023年度事業報告・決算報告・監査報告

第2号議案 代議員、理事および監事選挙結果報告

第3号議案 2024年度事業計画

第4号議案 2024年度予算案

第5号議案 名誉会員の選出

第6号議案 運営規則の変更 (Island Arc award) の廃止について

監事コメント

(岩部監事)

Island Arc誌のWileyとの次期更新 (2028年を予定) に向けて、他学会からも情報収集しながら、会員にとって不利益が生じないような対応を進めて頂きたい。

今年度から電子投票となった代議員選挙、会長副会長意向調査では、郵送投票であった前回と比べ大きく投票率が低下した。このことを重く考え、電子投票有りきではなく、会員にとって投票し易い方法へ改善されるよう検討して頂きたい。

以上

2024年4月1日

一般社団法人日本地質学会

会長 (代表理事) 岡田 誠

署名人 執行理事 中澤 努

2023年度第10回執行理事会議事録

日程: 2024年4月13日 (土) 10:00 ~ 12:00

【WEB会議】

出席: 岡田 誠, 杉田律子, 星 博幸, 中澤 努, 緒方信一, 内尾 (保坂) 優子, 内野隆之, 加藤猛士, 亀高正男, 小宮 剛, 高嶋礼詩, 辻森 樹, 松田達生, 矢部 淳, 山口飛鳥

監事: 岩部良子

欠席: 尾上哲治, 狩野彰宏, 坂口有人, 山本正司

事務局 澤木

*定足数 (過半数: 10) に対し、執行理事15名の出席

*前回23-9議事録案について、本執行理事会にて承認された。

報告事項

1. 全体的報告

・一般社団法人国土デジタル情報研究所 地質地盤情報の活用と法整備を考える会より、法人設立と会員継続 (協力会員) の依頼があり、要請通り承認された。

・宝石学会50周年行事に関しての地質学会からの祝辞依頼があり、承認された。

2. 運営財政部会 (亀高・加藤)

1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>

・第15回 (令和6年度) 日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦依頼があった (学会締切5/15) 【→ニュース4月号, geo-flash配信】

・2025-2026年開催藤原セミナー募集 (締切7/31) 【→ニュース4月号, geo-flash配信】

・役員就任挨拶 (石油資源開発株式会社: 代表取締役会長 藤田昌宏氏, 代表取締役社長 山下通郎氏)

・令和6年度運営体制、新年度挨拶 (産業技術総合研究所地質調査総合センター: セン

ター長 中尾信典氏ほか)
・科学教育研究協議会より、第70回全国研究大会いわて花巻大会(8/7-9)への後援依頼があり承諾した。

<会員>

1_今月の入会者:正会員2名(一般1, シニア1), ジュニア会員1名

正会員一般:中村将人
正会員シニア:内藤定芳
ジュニア会員:都筑暖和)

2_今月の退会者:正会員2名(一般1, シニア1)

正会員一般:柏木健司
正会員シニア:森 啓

3_今月の逝去者:1名 → 5. に前回理事会以降の逝去者氏名あり

正会員シニア(1名):石賀裕明(逝去日:2024年3月2日)

4_2024年3月末会員数

賛助:31, 名誉:34, ジュニア:4, 正会員:3032 [内訳 一般2030, シニア797, 学生205] 合計 3101 (昨年比-32)

5_前回(12/9)理事会以降の逝去者氏名:正会員シニア7名

下西繁義(逝去日:2023年1月5日), 野田浩司(逝去日:〃年7月14日), 澤田武美(逝去日:〃年12月7日), 八木下晃司(逝去日:〃年12月末?), 杉山 明(逝去日:2024年1月9日), 平野昌繁(逝去日:〃年1月16日), 石賀裕明(逝去日:〃年3月2日)

6_年度末退会者&除籍者【名簿回覧】

①2023年度末退会者(82名)

②2023年度末除籍者(88名)

7_永年会員顕彰者

70年4名, 60年5名, 50年40名, 40年58名を予定している。(2023年度第3回理事会議事録参照)

<会計>

特になし。

<その他>

特になし。

3. 広報部会(内尾・松田)

1) 広報委員会(内尾)特になし

4. 学術研究部会(辻森・尾上・高嶋・山口)

1) 行事委員会(高嶋・山口)

・2024山形大会:トピックセッション18件申込。一部修正依頼を予定。巡検は8コース。巡検案内書の執筆について未着工は1件(近月初稿提出予定)。

・2025熊本大会:9月14日~16日。プレ9月11日~13日, ポスト9月17日~18日。巡検コースは9コース(仮)で今後の予算計画行程計画を踏まえて9月の理事会までに確定する。

・2026金沢大会:開催日未定。

・2027年は関東を予定。

・今後の開催会場については, 未開催地域での開催が望ましいが, 各支部での検討だけでは難しいところもあり, 執行理事会からも会場選定についての支援をすることが良い。

・巡検案内書の編集工程の改善について, WGにて検討中。山形大会では執筆者の原稿を編集委員長だけでなくLOCメンバーも含めて複数の委員で編集を行っている。

2) 専門部会連絡委員会(尾上)

・専門部会から寄せられた意見(問題点)が紹介された。

→従来の専門部会MLが廃止され, メルマガ形式となったため双方向配信ができず部会員の情報交流に支障が出ている。加えて事務局に配信依頼を行う必要があり迅速性に欠ける。→後者については, 今後配信権限を各部長や担当者に付与するように現在作業中。

→学術大会のセッション編成が変更され, 同じ部会員による関連するセッションが重なるケースがある。プログラム編成時に配慮して欲しい。→可能な範囲で対応する旨行事委員長(高嶋)より回答があった。

3) 国際交流委員会(辻森・岡田)

特になし

4) 地質標準化委員会(内野)

特になし。

5. 編集出版部会(狩野・小宮)

1) 地質学雑誌編集委員会(小宮)

(1) 編集状況報告(2024年4月10日現在)

・2024年投稿論文:18(昨年比-4) [内訳] 論説8(和文8), 報告2(和文1, 英文1), レター2(和文2), フォト1(和文1), 巡検案内書5

・査読中:22, 受理済み:3, 入稿・校正中:8, 130巻公開済み6件(88ページ)

・一般的な投稿数は減少傾向にある(巡検案内書は除く)。理事会でも投稿を呼びかける。

2) Island Arc編集委員会(狩野)

(1) 編集状況報告

・Island Arc編集委員会新規委員1名追加:長谷川 卓会員(金沢大学)専門:古生物) 任期:~2024年6月総会まで。理事会で承認予定。

6. 社会貢献部会(坂口・矢部・内野)

1) 地質教育委員会(坂口)

特になし

2) 地質技術者教育委員会(坂口)

特になし

3) 生涯教育委員会(矢部)

・ニュース誌の連載を進めている。4月号は磐梯山噴火記念館の佐藤 公館長に寄稿いただいている。

4) 地震火山地質子どもサマースクール(星)

特になし

5) 地質の日(矢部)

・「地質の日」に向けて各支部を含めて様々な行事が企画されており, 学会ホームページでの広報を進めている。

・オンライン一般講演会(5/12)について, 広報を関連学協会に依頼済み。

・5/19実施予定の「街中ジオ散歩」については, 4月15日まで参加者募集中。学会SNS

でも発信済み。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会(中澤)
特になし

2) 若手育成事業検討WG(内野)
特になし

3) 表彰制度検討WG(中澤)
特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会(矢部)
特になし

2) 地学オリンピック支援委員会(坂口)
特になし

3) 支部長連絡会議(杉田)
特になし

4) 地質災害委員会(松田)
特になし

5) 名誉会員推薦委員会(星)
特になし

6) 各賞選考委員会(中澤)
特になし

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会(辻森)
特になし

8) 連携事業委員会(中澤)
特になし

9) 法務委員会(中澤)

特になし

10) 若手活動運営委員会(桑野)

特になし

9. 研究委員会

1) 南極地質研究委員会(委員長 大和田正明)

特になし

2) 法地質学研究委員会(委員長 川村紀子:杉田)

特になし

10. その他

1) 選挙管理委員会(代理中澤)

特になし

特になし

特になし

審議事項

1. 地質の日イベント「街中ジオ散歩」協同開催に関する協定書(矢部)

「街中ジオ散歩」は, 2012年の初回より日本応用地質学会と共同開催で運営しており, 双方の役割を明文化するため協定書の作成を進めた。原案について承認された。一部の文章について正確を期すために調整する。

2. 理事会資料の確認

監事コメント

(岩部監事)学術大会会場費について高騰傾向にあり大会運営財政を圧迫する要因となっている。このことは大会参加費にも関わるため今後も十分検討の上, 今後も大会が円滑に行われるように進められたい。

以上

2024年5月18日

2023年度第11回執行理事会議事録

日 程：2024年5月18日（土）13:00～17:00
【WEB会議】

出席：岡田 誠、杉田律子、中澤 努、緒方信一、内尾（保坂）優子、内野隆之、尾上哲治、加藤猛士、狩野彰宏、亀高正男、小宮剛、坂口有人、高嶋礼詩、辻森 樹、松田達生、矢部 淳、山口飛鳥

監事：岩部良子

欠席：星 博幸、山本正司

事務局 堀内

*定足数（過半数：10）に対し、執行理事17名の出席

*前回23-10議事録案について、本執行理事会にて承認された。

報告事項

1. 全体的報告

・特になし

2. 運営財政部会（亀高・加藤）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集、連絡等>
・青少年のための科学の祭典2024（24/6/8-25/1/26；全国各44会場）への後援依頼があり、承諾した。

<会員>

1. 今月の入会者：正会員学生9名（単年度2名、2年バック6名、3年バック1名）

藤井雄大、市村 健、浦川真登、伊藤禎宏、荻野峻右、大嶋俊介、檜垣悠斗、小林和哉、萩野 穰

2. 今月の退会者：正会員一般2名

遠藤 拓、谷脇由華

3. 今月の逝去者：なし

4. 2024年4月末会員数

賛助31、名誉34、ジュニア会員5、正会員3042〔内訳：一般2008、シニア854、学生会員18〕合計3112（昨年比-39）

<会計>

・第2回研究奨励金を5/9付で採択者（6名）に支給した。

<その他>

・規則の整理について：2024年度の目標：事業部会に属する委員会の規則を整備する。

・業務監査を5/15（水）に実施した。2023年度の事業内容と財務状況（決算）、2024年度の事業計画と予算案、理事会及び執行理事会の活動状況や会員への周知実績、事務局の勤務状況などを監事に確認頂いた。監事より特に選挙の方法について改善することが必要との意見があった。電子投票の周知徹底をはかる。

・会員システムについて、4/23（火）に業者と打合せを行い、改修作業を進めている。

→支部、専門部会のML配信機能：各2名程度の管理者（配信）権限を設定、近日運用開始予定。従来のMLのように意見交流（相互配信）はできない。現システムによる大人数の相互配信機能は難しいため、ジオフラッシュ等の活用で代用してもらいたい。

→画面の見やすさ（フォント、画面サイズ、視認性等）について改善を進める。

→サーバ作業のため、6/12（水）-14（水）は会員システムの利用を一時停止する。メルマガ、ニュースで周知する。

3. 広報部会（内尾・松田）

1) 広報委員会（内尾）

地質の日のプレスリリースを5/1付で行った。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

・2024山形大会

→講演要旨の締め切り延期：6月19日→6月26日に変更。プログラム編成の行事委員会を6月29日（土）に開催。9月初めに大会が行われるため、締切が早くなっている。

→巡検案内書（未投稿1、受理3、査読中1、査読への対応中3）

→会場費の減免措置については5月22日頃に明らかになる予定。

→企業説明会について6月に広報したいので、開催会場スペース等について今後LOCと確認する。

・2025熊本大会

→コンベンションの助成金を申請予定。

→懇親会は生協で実施予定。

・2026大会：会場は金沢大学を予定。

・ショートコース（山口）

→次回、第11回ショートコース「微化石」（講師：松岡 篤、林 広樹）を7/21（日）開催予定。ニュース誌5月より広報開始。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし

3) 国際交流委員会（辻森・岡田）

特になし

4) 地質標準化委員会（内野）（→審議事項へ）

特になし

5. 編集出版部会（狩野・小宮）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告（2024年5月13日現在）

・2024年投稿論文：22（昨年比-2）〔内訳〕論説9（和文9）、報告2（和文1、英文1）、レター3（和文3）、フォト1（和文1）、巡検案内書7

・査読中：19、受理済み：4、入稿・校正中：7、130巻公開済み12件（168ページ）

(2) 編集委員の交代

堀江委員→新正裕尚（東京経済大）（→2024年第1回度理事会審議事項へ）

2) Island Arc編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

・前月とあまり変わりなし。IFは（2022-2023）表示のまま更新されていない。

(2) 編集委員長、編集委員の交代予定

編集委員長（EIC）交代：辻森 樹→市山祐司（千葉大）、狩野彰宏→長谷川 卓（金沢大）。次期編集委員会メンバーは現在選定中。新EICを含め12月理事会にて提案・承認予定。今後の執行理事会での編集報告等は引き続き編集委員として残留する辻森理事に担当頂く。

6. 社会貢献部会（坂口・矢部・内野）

1) 地学教育委員会（坂口）

特になし

2) 地質技術者教育委員会（坂口）

・委員長交代：天野一男→竹内真司（日本大）

・2024年度JABEE定時社員総会&創立25周年記念大会（6/5開催）の案内があった。出欠返信期日5/30

3) 生涯教育委員会（矢部）

・5/9に委員会をオンライン開催し、各担当の進捗状況を共有した。

・ニュース連載記事の「博物館で地学を学ぼう！」を継続中。5月号は秋田大学附属鉱業博物館・西川 治会員、6月号は東北大学総合学術博物館・高嶋理事

・委員体制の変更。今期末で退任：川端委員長・平田理事。新委員：笠間友博理事（箱根ジオパーク）・白井孝明氏（萩ジオパーク）

4) 地震火山地質こどもサマースクール（星）

特になし

5) 地質の日（矢部）

・惑星地球フォトコンテスト第15回ほか入選作品展示会を東京パークスギャラリーで開催した（5/1-12）。

・オンライン一般講演会「令和6年能登半島地震による地殻変動と地盤災害」を5/12（日）に実施し、YouTubeLiveで同時配信を行った。当日の最大視聴数は191人。現在の視聴数は1572回（5/16現在）。講演会に関して、プレゼント付きのアンケートを実施している。現在60件のアンケートを頂いている。

・街中ジオ散歩in東京を5/19（日）に東京麻布台で開催する。

・街中ジオ散歩共同開催に関する協定書を日本応用地質学会と取り交わした。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネージメント委員会（中澤）

特になし

2) 若手育成事業検討WG（内野）

・関東支部主催の城ヶ島巡検（6/8-9）および清澄フィールドキャンプ（8/19-24）について、学生会員への参加費補助適用の申請があった。収支案、募集案内文を一部修正の上、承認した。

3) 表彰制度検討WG（中澤）

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会